

The 2 Chome Times 2020年3月号

NO1のプレミアムストリートをめざして

NO262.

2020・3月・25日



発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス3月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★寄ってきました、美しい松本安曇野

神戸空港から松本空港への便利な路線が開設されたのは先日ご報告しましたが、今回は少し足を延ばして安曇野の아트ラインにある安曇野アートヒルズミュージアムに来てみました。ここはエミール・ガレの作品を展示する美術館です。吹きガラス工房、ガラス制作体験を行うワークショップ、広々としたショップ、テラス席からの眺めが自慢のイタリアンレストランなどがあります。ご家族でも大いに楽しめそうな美術館です。特にガレの作品は若かりし頃から晩年までの作品まで揃っていて見応えがあります。さらに車で10分の所にある安曇野北アルプス展望美術館へも足を延ばしました。ここはもと池田町立美術館と呼ばれ、地元安曇野を愛し、描いてきた地元の画家達の作品で溢れています。



蜻蛉文花瓶

最大の醍醐味は美術館前から見える眺望が素晴らしく、心奪われるほどでした。この地は“わさび”の名産地で、わさび漬は勿論信州そばなどグルメも充実して是非お勧めの場所です。春に温かい日差しの中いかがでしょうか。

安曇野アートヒルズミュージアム：〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 8161-1 Tel.0263-83-5100

Email: info_ahm@arthillsmuseum.jp



エミール・ガレ美術館



安曇野

★首里城再建支援チャリティーコンサートにに行ってきました！

2月22日(土)に神戸新聞松方ホールで沖縄民謡の第一人者として知られる歌手、古謝(コジャ)美佐子さんをメインに沖縄ゆかりのアーティストと共にコンサートが開かれました。これはその収益を首里城再建のために沖縄県に寄付するというものです。第一部では関西に在住の沖縄県民の方々による歌と舞で沖縄の伝統を感じさせていただきました。第二部になり、古謝さんの歌が始まると、その迫力と独特な節回しに圧倒されましたが、驚いたのが勘緑さん主催の人形座「木偶舎(モクグウシャ)」とのコラボレーションでした。勘緑さんは33年間文楽座で芸員として活躍され、その後フリーとなり活躍されています。つまり、古謝さんのバックで人形浄瑠璃に使われる人形が舞うというものです。筆者自身、文楽人形の舞を観るのは初めてでしたが、これがまた予想外にズバリと“ハマって”いたのです。素晴らしい歌声と文楽人形の舞が一度に観れてチョット得した気分になってしまいました。



古謝さんと共に舞台上でキーボードを演奏されていた佐原一哉さんとの夫婦漫談のようなトークも愉快で楽しいひと時を過ごせました。皆様もチャンスがあれば“沖縄の心”を歌い上げる古謝さんの歌声に出合ってみてはいかがでしょうか。



た佐原一哉さんとの夫婦漫談のようなトークも愉快で楽しいひと時を過ごせました。皆様もチャンスがあれば“沖縄の心”を歌い上げる古謝さんの歌声に出合ってみてはいかがでしょうか。

★神戸で行われた“観光甲子園”に行ってきました

「観光甲子園」の愛称で知られる「全国高等学校グローバル観光コンテスト」が1月25日に神戸で開催



され、沖縄県の本部（モトブ）高校が参加していたこともあり、見学に行ってきました。このインバウンド部門・決勝大会には、215件もの応募から勝ち上がった10チームが出場し、それぞれの地元の魅力を伝えるプレゼンテーションと動画上映を行いました。この大会の存在さえ知りませんでしたが、それぞれのチームは画像やナレーションに工夫を凝らしていて、とても印象的でした。以前とは違い、デジタル機器が普通に手にすることが出来る時代だけに決勝に進出してくる

作品はどれも素晴らしいものでした。その中で見事グランプリを受賞した、浜松学芸高等学校の作品を観た時はやはり動画の構成や風景の美しさがとても心に残り、結果的にグランプリを受賞した時は“納得”でした。グランプリを受賞した浜松学芸高等学校の作品タイトルは「天浜線のメモリー」。緑豊かな田園風景からはじまる動画では、1両編成の天竜浜名湖鉄道（天浜線）がゆっくりと走る様子に合わせて、沿線にある寺社や古民家の宿、和紙や鬼瓦作りなど日本ならではの体験、そしてどこか懐かしい日本の原風景が紹介されていました。この様な素晴らしい作品に出会うと日頃、“浜松と言えば鰻”しか頭にない筆者でも現地を訪れてみたくなる気持ちにさせられました。関心のある方はユーチューブでも「天浜線のメモリー」で検索して頂ければ視聴が可能ですので、一度このグランプリ作品をご覧になってください。

★新型コロナウイルスに対応すべく備蓄アルコールが街で配布されました

3月4日に新型コロナ予防の為に2丁目で備蓄していました消毒用アルコールを各店に配布いたしました。

先日の定例理事会でも今後とも、マスク・消毒用アルコールの常時備蓄が改めて決議されました。来店するお客様も当然ですが、従業員の方々のために使用して頂きたいと思えます。ただ皆様に知識として承知しておいて頂きたいのですが、アルコール消毒は完璧ではなく、場合によっては手洗いの有効性の方が高い場合もあるという事です。特に咳や痰、クシャミと



いった粘液に混じったウイルスは感染力がなかなか弱りません。やはりこの様な時は手洗いでしっかりウイルスを洗い流してください。街では“新型コロナウイルス情報”として定期的に組合員の皆様に新鮮なウイルス情報をお配りしています。既に volume4 までお配りしましたが、これからも新型コロナウイルスとは長期の戦いになると思えますので、有効と思われる情報はその都度皆様と共有していきたいと思えます。さらに街では一般の人々の外食といった夜間の外出行動が減っていることから、深夜でも街を安全安心に通行して頂こうと現在アーケードの照明を全点灯しています。皆様の安全をまず念頭に置き、さらに私達の街を私達で守っていかねばならないとより感じています。皆様もよろしくご対応をお願いいたします。

★編集後記

いよいよ新型コロナウイルスの影響が深刻になってきました。政府が全ての方面で自粛を要請した2週間は過ぎましたが、一部の国では非常事態宣言が出され、これからどう転んでいくのか見当もつきません。今回の騒ぎの中でただ一個人的に許せないと感じているのがマスクやトイレットペーパーなどの不足に乗じて、ネット上でそれらを高く転売しようとしている人達がいた事です。現在は転売も禁止になりましたが、人の弱みに付け込んで、儲けようという“火事場泥棒”的な発想が本当に残念でなりません。このような発想がはびこる日本にはなあって欲しくないと切に願っています。この先も何が起こるか分かりませんが、どうか皆様も冷静な判断をして頂き、殺伐とした空気が流れる世の中にはしたくないものですね。